

## 中学生の「税についての作文」

大木町長賞

### 地域活性化への第一歩

大木町立大木中学校

三年 長尾 はるひ

「いい湯だなあ」

私は、家族でよく温泉に行きます。様々な温泉を楽しめる上、景色を見て湯船に浸かれるので日頃の疲れを取るには最適です。

ある時、何気に見た温泉の明細書に「入湯税」とかいてありました。「温泉入るために税金払わやんと？」私は不思議に思いました。

「税」この言葉をきいて、私はあまり良い印象をもったことはありませんでした。なぜなら私の中の「税」は「お金を無駄に取る」というイメージが強かったからです。さらに「入湯税」で私の「税」への印象は悪くなりました。しかし、温泉へ行くたびに「入湯税」のことが気になり調べてみることにしました。

「入湯税」とは、温泉を利用した場合に支払う税金のことです。ではなぜ「入湯税」は導入されたのでしょうか。それは、環境衛生施設や消防施設の設置に関わる費用、観光に関わる費用、温泉の維持管理の費用などに使用されているからです。

また、温泉施設だけでなく周辺にある公園や広場の清掃な

どの費用にも使用されています。すなわち、訪れる人々がお風呂や観光を楽しむために導入されたといえるでしょうか。

以上のことから「入湯税」は、観光振興に欠かせない財源になっており、誰しもが快適に温泉を楽しむことができるために必要な税金だということが理解できました。

私は、「入湯税」は温泉のためだけに使用されていると思いきや、私も使ったことが、温泉のためだけでなくその地域全体の振興としても使用されていたということに感銘を受けました。ですが、地域活性化のために使用されている税金は「入湯税」だけではなく、もっと身近なところでも使用されているのです。

例えば、誰もが税ときいて真つ先に思い浮かべるであろう「消費税」。これは国税、地方税どちらも主な用途は社会保障費であり、主に年金や医療、介護や子育て支援などに使用されています。

このように、税には様々なメリットがあるということを知ることができ、私の税への印象は大きく変わりました。

「税金」とは、「入湯税」のように地域活性化へつながったり私たちの生活が快適にすごせたりするためにとっても大切なものです。「もし税がなくなったら」そう考えるだけで誇ることのできる日本の未来はおそろしいものになっていく、そう予想できるでしょう。救急車を呼ぶのにも警察に助けを求めるのにも遠慮してしまう。学生は十分な教育を受けられなくなる上、教科書がある人、ない人の差別がでてくる可能性だってあります。そのような国にならないために、私たち国民が納税者として税金への関心を高め、より正しく理解を深めていきたいと強く思いました。